

# しむかつぷ ぎかいだより

No.185

2026年 2月号  
(令和8年)



## 持続可能な森づくり基本合意書を締結 令和6年度決算を認定

📷 今月の表紙 『令和8年 占冠消防出初式』

令和8年1月5日(月)に富良野消防署占冠支署庁舎前で  
点呼・観閲を実施した時の一枚です。



≪ 議会広報や議事録全文は  
村ホームページでご覧になれます。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ● 第5回定例会 .....   | p 2 |
| ● 村内所管事務調査 ..... | p 3 |
| ● 議員派遣 .....     | p 4 |
| ● 村長行政報告 .....   | p 5 |
| ● 決算特別委員会 .....  | p 6 |
| ● 一般質問 4議員 ..... | p10 |
| ● 議員の主なうごき ..... | p14 |

# り基本合意書を締結 決算を認定

## 令和7年 第5回定例会

●会 期 12月11日から12日まで（2日間）

●一般質問 4議員

●審 議 条例の一部改正、補正予算、損害賠償額の決定など計18件をすべて原案どおり可決

●傍 聴 11日…19人 12日…1人

### 条例の一部改正

▼占冠村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

▼特別職の職員で常勤のもの給与に関する条例の一部改正

いずれも、人事院勧告に伴い、期末手当の改正を行うものです。

▼占冠村職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告に伴い、給与、期末・勤勉手当の改正を行うものです。

▼占冠村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条

### 例の一部改正

人事院勧告に伴い、期末・勤勉手当の改正を行うものです。

▼占冠村行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正

地方公共団体情報システムの標準化に伴い、住登外者を一元管理する機能が設けられ、マイナンバーの独自利用を行う事務として条例に定めるため改正を行うものです。

### 質疑

問 大谷議員

住民登録されていない方をどのように特定し、周知を行

うのか伺います。

三浦総務課長

固定資産税や介護保険などにおいて、住登外者はそれぞれのシステム番号で管理していたものを一元化するものです。個別周知は必要ないものと認識しています。

## 令和7年度補正予算

### 質疑

〔一般会計 第7号補正〕

問 小尾議員

トマムコミセンへのエアコン設置台数を伺います。



阿部トマム支所長

多目的ホール2台、和室2台、事務室1台の計5台です。

問 木村議員

トマム地区公園整備工事に



係る予算額100万円の大半が今回減額されているが、そもそも何を想定して当初予算を計上したのですか。

阿部支所長

住民ワークショップでの意見を基に毎年予算計上しており、今年度は村の財政状況等を勘案して100万円を計上しました。先日のワークショップにおいて、ハード面の整備は終了し、今後は物品購入や施設の維持管理を優先することとしたため、今回減額するものです。

問 木村議員

中山間地域直接支払交付金228万8,000円増額の内容を伺います。

鈴木農林課長

令和6年度をもって本村の転作田の畑地化が完了し、対象面積が増加したことにより当初予算比で倍増となりました。



# ▶ 持続可能な森づく

## ▶ 令和6年度

### 令和7年度 補正予算(専決処分)

**一般会計(第6号)** **1,000万円増**  
 総額 33億9,870万円→34億870万円

・トマム地区暴風被害に係る各種復旧経費…1,000万円増など

**公共下水道(第2号)** **190万円増**  
 収益的支出総額

9,686万4,000円→9,876万4,000円

・トマム浄化センターフェンス修繕(暴風被害復旧) 190万円増

### 令和7年度 補正予算

**一般会計(第7号)** **6,370万円増**  
 総額 34億870万円→34億7,240万円

・総合センター高圧設備更新工事……………400万円増  
 ・トマムコミュニティセンターエアコン設置 137万5,000円増  
 ・寄附者贈呈品……………600万円増  
 ・環境保全と観光振興基金積立金……………2,000万円増  
 ・村の木活用事業2.0(シュガーハウス関係)…1,200万円増  
 ・村道除雪、管理委託料等……………620万円増など

**一般会計(第8号)** **270万円増**  
 総額 34億7,240万円→34億7,510万円

・物価高騰対応子育て応援手当……………260万円増など

**国民健康保険(第2号)** **30万円増**  
 総額 1億2,720万円→1億2,750万円

・給料、手当等……………30万円増

**村立診療所(第2号)** **20万円増**  
 総額 8,720万円→8,740万円

・給料、手当等……………20万円増

**介護保険(第2号)** **130万円増**  
 総額 1億2,610万円→1億2,740万円

・給料、手当等……………81万円増  
 ・介護保険システム改修委託料……………34万円増など

**歯科診療所(第1号)** **30万円増**  
 総額 2,320万円→2,350万円

・光熱水費……………9万3,000円増など

**簡易水道(第4号)** **219万8,000円増**  
 収益的支出総額

1億4,320万7,000円→1億4,540万5,000円

・水道施設電気料……………100万円増  
 ・修繕費……………127万6,000円増  
 ・企業債利息……………63万7,000円増など

**公共下水道(第3号)** **増減なし**  
 収益的支出総額 9,876万4,000円

・修繕料……………90万3,000円増  
 ・消費税及び地方消費税納付金……………123万円減など

#### 問 小尾議員

村の木活用事業委託料400万円、工事請負費800万円の増額理由を伺います。

#### 鈴木課長

委託料はシュガーハウスの飲料水充填機製造・設置について一部内容変更を要するため、工事請負費は建物の工法変更等が必要となり増額するものです。なお、工事については1月末の工期に間に合うよう進めています。



建設が進むシュガーハウス

#### 問 木村議員

公債費における長期債年賦利子が、当初予算689万円に対して433万円の増額補正に至った理由を伺います。

#### 三浦課長

変動金利の利率改定によるものです。

#### 議決

#### ▼和解及び損害賠償の額の決定

9月にトマム地区で発生した暴風により、トマム保育所プロパンガス保管庫の保護枠

が飛散し、駐車車両に衝突して損害を与えたため、相手方との和解及び賠償金の額を決定するものです。

・相手方 村内在住者 A氏  
 ・賠償額 31万3,517円

#### 村内所管

#### 事務調査

11月28日に実施し、12月11日の議会定例会で小尾総務産業常任副委員長から報告されました。



## ①トマム地区移住定住促進 村有住宅整備状況等調査

令和5年12月に発生した第2トマム団地における火災により、当該住宅が全焼、隣接する1戸が煤汚損や水漏れ等によりいずれも居住不可能となったため、令和7年度において全焼した住宅の復旧新築工事、隣接住宅の外壁及び内装等補修工事が行われ、両棟とも適正に施工されていることを確認した。

なお、当該住宅については公営住宅法適用外の村有住宅となるため、家賃は既存民間賃貸住宅の相場を勘案して決定し、令和8年の早い段階での入居開始に向け準備を進めているとのことであった。

## ②除雪トラック納入状況調査

旧車両の老朽化に伴う更新が行われ、令和7年3月に納品された。

車両については仕様書どおり納品されていることを確認するとともに、旧車と比較し機能性や操作性が大

幅に向上し、運用に関しては良好とのことであった。

今後においては、長期的な使用を考慮したうえで車両整備に万全を期すとともに、事故防止に向けた注意喚起の徹底など、引き続き委託業者に対する指導に努められたい。



新たに納入された除雪トラック

## ③湯の沢温泉給湯ボイラー 取替状況等調査

令和7年7月の定期点検で経年劣化を原因とするボイラー内部の穴あきが発見されたため、10月に取替工事が施工され、仕様どおりに納品・設置されているこ

とを確認した。

施設の稼働維持に向け、引き続き諸設備の計画的なメンテナンスに努めるとともに、中長期的視点に立った修繕・更新計画の策定を検討されたい。

## 議員派遣

### 1 上川・留萌管内女性 議員研修会

10月1日～2日

東神楽町

上川・留萌管内の市町村議会女性議員33名の参加により開催され、本村からは大谷副議長、下川議員が参加しました。

東神楽町は「花のまち」として知られています。

本研修会では、各地域に点在していた公共施設を集約し、関西万博の大屋根リング設計者で知られる藤本壮介氏のデザインによる回路状の複合施設「はなのわ」や、施設に併設されたフラワーガーデンが紹介され、花を活用した魅力ある街づくりを学ぶことができました。

### 2 総務産業常任委員会 行政視察

10月21日～22日

別海町・浜中町・厚岸町

行政諸課題について見聞を広め、分権時代に即した議会の活性化に資することを目的として行政視察を行いました。

#### (1) 別海町議会

「一般質問検討会議を軸とした政策形成サイクルの確立」別海町議会では、議員個々の政策反映の狙いを議会全体で共有し、一般質問の内容について議員相互に助言を重ねていく「一般質問検討会議」を定例会毎に

行い、一般質問を議会や委員会等の政策資源とし、PDCA（計画、実行、評価、改善）サイクルによる政策議会を作る取組が進められていました。

また、議会サポーター制度が確立され、学識経験者による関与も行われているとのことでした。

一般質問の磨き上げによる政策議会の形成は本村議会においても課題と言え、今後の議会活性化に向けて大いに参考となる研修となりました。

#### (2) 浜中町・厚岸町 【郷土資料館見学】

本村においても郷土資料館の充実が課題となっており、両町が運営する資料館を見学しました。

施設規模や見せ方に差はありますが、いずれも専任の学芸員によるコーディネートにより整備され、テーマやコンセプトも明確であり、展示資料から両町の歴史を垣



別海町議会議員と共に

間見ることができました。  
必要最低限の予算で、歴史を踏まえた効果的な演出は可能であり、本村の郷土資料館整備における参考となりました。

### 3 上川管内町村議会議員研修会

11月6日 旭川市

今年度は市議会議長会道北支部との共催により、上川管内町村議会議員、市議会議員、事務局職員などの参集により開催され、本村からは全議員が参加しました。

はじめに、関東学院大学法学部地域創生学科教授牧瀬 稔氏より「議会改革の現状と課題―地方議会の将来に向けて―」と題した講演を受け、「地方議会の目的と役割」「地方議員のなり手不足と背景」「議員提案政策条例の取組」などについて学びました。

続いて、テレビ番組等でお馴染みの弁護士 三輪記子氏より「最新裁判例から

見るハラスメントの傾向と対策―その原因と予防法―」と題した講演を受けました。

適切な指導とハラスメントの境界線が曖昧であり、かつ、多種多様なハラスメントが存在する今日ですが、具体的な事例紹介を交えながら予防策や解決方法などを学びました。

ハラスメントは誰もが加害者、被害者になる可能性を秘めており、相手を常にリスペクトする中から誠実な対応に努めることが重要と感じました。



上川管内町村議会議員研修会の様子



## 村長の行政報告

### 持続可能な森づくりに関する基本合意書締結について

12月1日、(株)NTTドコモ、(株)ティクス・グリーン、占冠村の3者により、J-クレッジットに係る「持続可能な森づくりに関する基本合意書」の締結式を執り行いました。

この基本合意書は、ゼロカーボンの実現を目的として、(株)NTTドコモの技術を活用した林業機械による実証、村有林の整備及び環境保護活動を可視化・発信する等の事業に取り組むこと



もに、(株)ティクス・グリーンの林政・林業ソリューションを活用した林政・林業分野のDXを推進するものであり、村有林整備によるJ-クレッジットの創出、スマート

林業による作業効率化の実現、環境教育の充実などを連携して進めることを定めています。  
今後は、村有林の二酸化炭素吸収量に関する詳細調査を実施のうえ事業ごとに覚書を締結し、段階的に事業を進めてまいります。

### 住民懇談会の開催について

11月5日から11月13日にかけて開催し、村内6会場で計30名の参加をいただきました。

今年度は、6月に開催した「ヒグマ市街地侵入対応訓練



について」を各地区共通の話題としたほか、本村のヒグマ対策等について報告するとともに、地域の実情や困りごとなど、課題解決に向けた有意義な意見交換の場となりました。

住民懇談会は、住民の皆様と直接顔を合わせ、地域の課題や将来のあり方について意見交換ができる貴重な機会であり、今回いただいたご質問や地域特有の課題、各種の要望について、すぐに改善できるものは速やかに対応するなど、より良い村づくりのための施策につなげてまいります。



# 決算特別委員会

〔令和7年10月30日・31日〕（傍聴 0人）



決算特別委員会  
藤岡 幸次 委員長

## ○認定すべきと決定

第4回議会定例会において決算特別委員会に付託された、認定第1号「令和6年度一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定について」及び認定第2号「令和6年度公営企業会計決算認定について」は、10月30日と31日の2日間わたる審査の結果、認定すべきものと決定しました。

委員会の決定を受け、第5回議会定例会において藤岡委員長から審査結果が報告され、委員長報告のとおり認定されました。

なお、決算特別委員会の審査に先立ち、藤本重克代表監査委員より審査結果の報告がありました。

## ○監査委員審査意見（抜粋）

審査に付された一般会計及び各特別会計決算書、公営企業会計決算書等は関係法令に遵守して作成されており、決算計数は関係諸帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

今後の村政執行に当たっては、住民ニーズの変化や時代の要請に的確に対応できるよう、行政サービスの維持向上に努めるとともに、職員一人一人が常に費用対効果の意識を持ち、予算の効率的な執行と健全な財政運営に努められたい。

また、各公営企業においては住民生活に不可欠な社会資本として重要な役割を担っていることから、効率的・効果的な維持管理と計画的な施設等更新整備により、健全な事業運営に努められたい。

## 令和6年度 各会計決算状況

【千円単位切り捨て】

| 会 計 別      |                |       | 歳 入 額      | 歳 出 額      | 差引金額    |
|------------|----------------|-------|------------|------------|---------|
| 一 般 会 計    |                |       | 29億6,573万円 | 29億1,475万円 | 5,097万円 |
| 特別会計       | 国 民 健 康 保 険    |       | 1億2,555万円  | 1億2,277万円  | 278万円   |
|            | 村 立 診 療 所      |       | 8,235万円    | 7,830万円    | 405万円   |
|            | 介 護 保 険        |       | 1億1,728万円  | 1億1,215万円  | 512万円   |
|            | 後 期 高 齢 者      |       | 2,146万円    | 2,108万円    | 38万円    |
|            | 歯 科 診 療 所      |       | 2,211万円    | 2,144万円    | 66万円    |
| 公営企業<br>会計 | 簡易水道           | 収益的収支 | 1億4,514万円  | 1億2,979万円  |         |
|            |                | 資本的収支 | 570万円      | 5,499万円    |         |
|            | 公 共 道<br>下 水 道 | 収益的収支 | 1億374万円    | 1億187万円    |         |
|            |                | 資本的収支 | 2,740万円    | 5,932万円    |         |

## 《主な質疑》

### 一般会計

#### ▼歳入

#### 問 小林委員

固定資産税滞納繰越分の不納欠損額223万7,600円、収入未済額972万6,500円の人数を伺います。



#### 三浦課長

不納欠損は231人、収入未済は969人となっています。

#### 問 小尾委員

村税の不納欠損、収入未済の主な要因を伺います。

#### 三浦課長

村民税については外国人の出国に伴う職権消除による未納が多い状況です。固定資産税については大半がトマムのタワー案件であり、法人解散、相続放棄等が主な要因となっています。

**問 小尾委員**

外国人に対する村税未納対策はありますか。

**三浦課長**

戸籍窓口と連携し、転出時の未納確認、納付勧奨を進めています。転出後は可能な範囲で差押えを行っています。

**問 木村委員**

固定資産税の収入額が前年度比2,300万円減となった理由を伺います。

**小瀬税務担当主幹**

令和6年度において固定資産の評価替が行われたことにより減少したものです。

**問 小尾委員**

土地建物売払収入604万円の内容を伺います。

**三浦課長**

旧トマムスーパ一の土地建物216万円、トマム地区の宅地65万円、道東道四車線化工事に係る土地322万円です。

**問 小尾委員**

立木売払収入428万円の内容を伺います。

**鈴木課長**

間伐材売払い106万円、送電線や道路に係る支障木売払い321万円です。

**問 木村委員**

久々に減債基金の繰入が行われていますが、その理由を伺います。

**三浦課長**

財政全体を見て、今回は公債費への充当財源として減債基金の取り崩しが適当と判断しました。

**問 小尾委員**

奨学資金会計貸付金収入滞納繰越分の収入未済額405万3,700円の件数を伺います。

**木村教育次長**

件数は4件となっております。

**問 木村委員**

デジタル基盤改革支援補

助金に関する業務内容を伺います。

**伊藤住民課長**

地方公共団体の業務システムについて、原則2025年度までにガバメントクラウド上に構築された標準システムに移行するものです。国で定める20業務のうち、本村においては児童手当、住民基本台帳、戸籍、税、健康管理等15業務を対象とします。

## ▼歳出

### 総務費

**問 木村委員**

ジン製造開発委託料465万3,000円の成果を伺います。

**平岡企画商工課長**

新たな特産品としてジン、リキュールの開発を行い、それぞれ600本、400本の売上となりました。ふるさと納税返礼品のアイテムにも追加されるとともに、新たな起業も生ま

ふるさと納税返礼品のジン、リキュール



れ、今後様々な効果が期待されます。

**問 木村委員**

ミナトマム運営補助金として147万円が執行されたが、こういうところにお金を使うより、トマムに店舗を誘致するために使うべきでは。

**平岡課長**

トマムへの店舗誘致に関しては、過去にもコンビニ誘致を進めようとした経緯があり、今後も前向きに進める考えです。

**問 細谷委員**

トマム地区公園整備工事の内容がミナトマムの屋根修繕、周辺の舗装であり、用途が違うように感じますが、見解を伺います。



**阿部支所長**

トマム地区公園は三つのエリアで構成されており、ミナトマムエリアがその一つとなっています。屋根については雨漏りが発生したため既定予算で対応させていただくとともに、高齢者やお子様連れの方の利便性向上を目的として舗装工事を実施しました。

## 民生費

**問 木村委員**

小規模多機能型居宅介護施設の登録者数が年々減少している要因を伺うとも

に、指定管理料が微増傾向であることの見解を伺います。

**石坂福祉子育て支援課長**

登録者の減少は転出や死亡等が主な要因ですが、指定管理者における周知活動やイベントの開催等で新規利用者の獲得に向け努力しています。指定管理料は令和6、8年度の管理料が既に定められており、受入態勢を維持するためにも職員の減員は困難です。

**問 木村委員**

家庭用緊急通報装置の普



高齢者緊急通報システム

及状況を伺います。

**石坂課長**

携帯型の装置が9世帯、固定型の装置が2世帯、計11世帯となっています。

**衛生費**

**問 木村委員**

各種がん検診の受診率が軒並み低下していますが、その要因と対策を伺います。

**伊藤課長**

検診対象者のうち、外国人の比率が高くなっていることが要因と考えられます。未受診者に対しては繰り返し受診勧奨を行っており、今後も粘り強く進めていきます。

**農林業費**

**問 木村委員**

新規就農等支援対策補助金の使途及び村の新規就農状況を伺います。

**鈴木課長**

トラクターや付属機器の

購入用として交付しました。新規就農者数は平成28年度以降5戸、8人となっています。

**問 小尾委員**

熊・鹿駆除捕獲奨励金はそれぞれ5頭、457頭の実績とのことですが、農業被害の軽減についてどのような分析がされているのか伺います。

**鈴木課長**

鹿に関しては、牧草やデントコーンの被害が主ですが、従来の捕獲強化に加え、牧草地にもシカ柵が設置できるような施策を検討します。

**問 小尾委員**

人工造林（新植）工事は2件、1.4ヘクタールの実績ですが、ゼロカーボンの推進や林業従事者の就労の場の観点からも事業量の拡大が必要と考えますが、見解を伺います。

**鈴木課長**

過去には年間10ヘクター

若返りが図られる村有林（ホロカトマム



ル程度の造林を行っていますでしたが、現在は概ね3ヘクタールを目標とし、人工林の若返りを図っています。今後は広葉樹の植栽等も進め、多様性のある村有林を目指して整備を進めます。

**商工費**

**問 細谷委員**

令和6年度における道の駅、湯の沢温泉、赤岩青巖峡の利用実績を伺います。

**平岡課長**

道の駅は35万8,613人（前年度比102.4

パーセント）、湯の沢温泉は入浴1万157人（同114.4パーセント）、宿泊2,950人（同109.8パーセント）、宴会利用266人（同60.9パーセント）でした。赤岩青巖峡は3,231人（同132.3パーセント）にご利用いただきました。

**問 木村委員**

サイクルツーリズム推進事業補助金が令和6年度で終了しましたが、事業の検証、総括をお聞かせください。

**平岡課長**

平成27年度より実行委員会が事業を進めてきましたが、ツアーガイドの確保や自転車のメンテナンス等が困難となり、本年6月で実行委員会が解散されました。なお、実行委員会所有の自転車等については現在双民館で活用されています。



**問 木村委員**

道の駅に関しては相変わらずまばらな開店状況で、利用者のニーズに对应しているとは言えない状況ですが、そのことに対しての考えを伺います。

**平岡課長**

ご指摘の内容は承知しており、事業者や指定管理者とも店舗の閉店が重ならないよう調整をお願いしていますが、事業者の営業方針もあり、休みなく営業することは難しい状況です。国



充実が求められる道の駅

においては、道の駅の観光・防災拠点としての整備に係る施策を打ち出しており、本村においても道の駅のリニューアルに向け、関係機関との協議をスタートさせています。

**土木費**

**問 細谷委員**

除雪トラック購入における旧車両の取扱いを伺います。

**岡崎建設課長**

11月に売却に係る入札を執行し、落札者に売却する予定です。

**問 細谷委員**

道の駅周辺整備に係る測量設計の進捗状況を伺います。

**岡崎課長**

道の駅駐車場と村道の接続に係る概略設計は完了しています。国の補助金を活用するために必要な設計であり、内容が変わる可能性があります。補助対象の

目途が立った段階で説明させていただく考えです。

**一般会計全般**

**問 小尾委員**

公用車の運転に係る事故件数及び事故防止に向けた取組内容を伺います。

**三浦課長**

合計9件の事故が発生しており、うち職員側の過失によるものは3件です。事故防止に向け、運転技術の未熟な者を対象とした運転講習を実施しています。

**国民健康保険会計**

**問 木村委員**

国民健康保険税の不納欠損額10万5,391円、収入未済額141万3,417円のうち、外国人の件数について伺います。

**伊藤課長**

不納欠損が8件中7件、収入未済が27件中18件となっています。

**問 木村委員**

国民健康保険税現年度分の収納率が前年より低下した理由を伺います。

**伊藤課長**

高額課税者に滞納が発生したためです。

**介護保険会計**

**問 木村委員**

小規模多機能型居宅介護サービスの利用件数、給付額いずれも年々減少し、逆に訪問サービスの利用件数、給付額が増加しています。村が提供するサービスと要介護者が求めるサービスに乖離が生じていると思



ある日の風景(とま〜る)

いますが、見解を伺います。

**石坂課長**

小規模多機能型居宅介護サービスの減少については、体験入所やPR等の努力はしていますが、村外への転出や死亡などやむを得ない事情であります。訪問サービスについては富良野市の事業所により訪問リハビリや訪問看護が提供されており、自宅で生活し続けたいという方が増えているものと考えられます。

**簡易水道会計**

**問 木村委員**

企業債の借入利率が2.4パーセントと高率だが、もつと低い利率で借り入れることができなかったのか伺います。

**三浦課長**

公営企業会計適用債として、村指定金融機関より借入を行っています。利率については短期プライムレートの上昇によるものです。

▶観音行政への思い  
▶トマムの自然災害状況  
▶外国人との共生を図るために  
▶村の介護保険給付状況は  
▶財調・減債基金の減少



きむら かずとし  
木村 一俊 議員

1 観音行政への思い

問 10月5日観音元村長が亡くなりました。村長在任期間たくさん職場と雇用・繁栄をもたらし、村の礎を築きました。村長の想いを伺います。

田中村長

村の発展のため、残された功績を後世へと引き継いでいかなければならないと思っています。

2 トマムの自然災害状況

問 去る9月21日未明にトマムで大雨や突風等による災害が発生しました。村が把握している被害状況を伺います。

田中村長

倒木、物置や街路灯・学校設備の破損がありました。復旧に要した額は約1千万円です。

問 占冠村商工会からの支

援を求める要望への対応について伺います。

田中村長

占冠村商工振興事業補助金交付規則の一部改正を行い、支援を予算の範囲内で行うこととしています。

3 外国人との共生を図るために

問 住民の3人に1人が外国の方であるという状態で、共生を進める取組が必要だと思います。村長の考えを伺います。

田中村長

地域経済の維持のためにも外国人と共生は不可欠だと思います。事業所、警察、教育委員会、支援機関と連携しながら、多文化共生に努めます。

4 村の介護保険給付状況は

問 村の要支援者を含む要介護者は一定の方がおられますが、小規模多機能型居宅介護施設（とまろる）を

利用している方の利用件数や給付額は減り続けています。一方で、在宅にて訪問サービスを利用されている方は増加傾向にあります。村が提供する介護サービスに乖離があります。この状況をどう考えますか。

田中村長

「とまろる」の利用者は減少傾向にあります。認知症が進んだ場合はグループホームへ、介護度の高い方は特別養護老人ホームへの入所が考えられ、村から離れることとなります。

5 財調・減債基金の減少

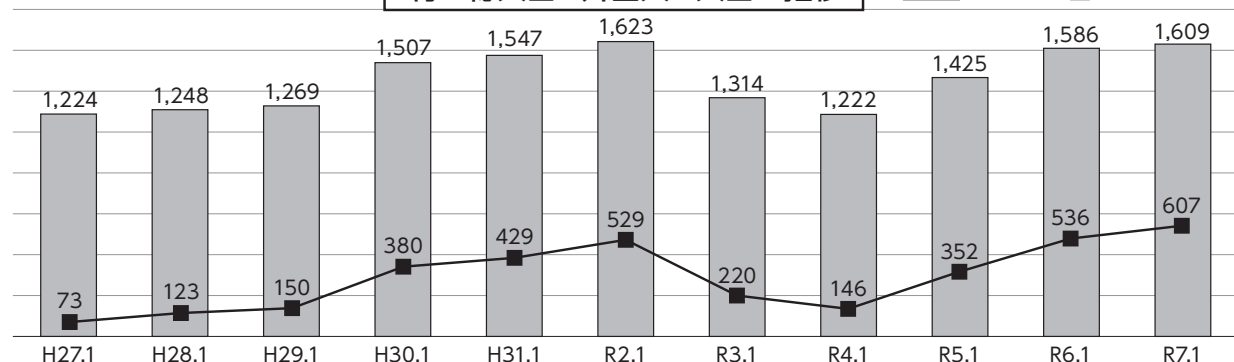
問 村の貯金というべき財政調整基金と地方債の返済に充てている減債基金の合計額が減っています。村の対応を伺います。

田中村長

持続可能な財源運営に努め、基金の積み増しを図っていきます。

(各月末現在)

村の総人口と外国人の人口の推移





お び まさひこ  
小尾 雅彦 議員

## ▶ガバメントハンターの正職員化を

## ▶道東自動車道の工事関係

### 1 ガバメントハンターの正職員化を

**問** 現在、村の野生鳥獣対策を専門とする職員2人は、会計年度任用職員と地域おこし協力隊員の身分です。専門性の高いガバメントハンターは、道内でも4町村の配置であり、新聞報道でも紹介されました。

また、占冠村は先進的な事例として紹介されており、今後国においても全国的に配備支援をしていく方針です。そこで昨今の緊急猟銃対応、村猟区の運営等多忙を極める2人を本村に長くともって頂き、業務を遂行できるよう配慮が要されます。村長の政策実現や村執行方針の達成のためにも正職員化が要されますが村長の考えを伺います。

#### 田中村長

熊被害対策等に関する関係閣僚会議で取りまとめられた熊被害対策パッケージや、総務省と環境省の連名で発出された通知では、対象となる職の職務の内容や責任などに応じて、任期の

定めのない常勤職員、任期付職員、臨時非常勤職員の中から、適切な制度を選択すべきと示されております。

本村では有害駆除におけるヒグマ対策でも追い払いや捕獲などの判断や、地元警察や関係機関との連絡、連携、現場での捕獲従事者への指示などを行っている野生鳥獣専門員の職責は非常に重責であります。国の財政支援や各種手当てなど、大枠で示されており、確認する事項が多くありますが、専門員の処遇等の見直しなど、これからも検討を行ってまいりたいと考えております。

### 2 道東自動車道の工事関係

**問** 村内、高速道路の四車線化に伴う工事が本格的に施行され、それに伴う大手ゼネコン関係の宿舍が村内に7か所ほど設置されています。

村はこの工事宿舎に対して、今後約10年工事が続くと予定される固定資産税の課税措置をどこまで把握さ



村内に点在する工事事務所・宿舎

れて準備しているのか伺います。

#### 田中村長

固定資産税の賦課期日が毎年1月1日基準であることから課税年度の前年中までに村内の巡回確認や、建築担当からの建築確認申請状況を確認して、新設、増築状況を把握しております。

その上で評価対象家屋に該当した場合は、速やかに評価して課税をするという状況であります。

**問** 先だって工事施工され

ていた十勝圏域を参考に課税されるのであれば、家屋評価か償却資産評価のどちらかを選択され、概算でどれくらいの金額になるのか伺います。

#### 田中村長

四車線化工事が現在十勝から順次進んでおり、同様事例を確認するため、既に課税されている清水町と新得町、南富良野町に状況確認したところ、3町全てで償却資産評価で課税しているとのことであります。

**再問** 償却資産とのことですが、宿舍建設費が1億円以上の建物は、この評価に関係ないのか伺います。

#### 田中村長

仮設建物を家屋評価すべき根拠としては、1年以上継続して存在する仮設建物は家屋として取り扱うことが適当とされますが、地方税法の施行に関する取扱いでは、事業用家屋で資産区分が構築物として経理されているものは、その区分の不明確な部分は償却資産とするものが適当とされています。





おたにもとえ 大谷 元江 議員

## ▶ゼロカーボンシティ宣言後の成果は

## ▶村の林業施策の今後は

### 1 ゼロカーボンシティ宣言の成果は

**問** 二酸化炭素削減の成果と把握を伺います。

**田中村長**

再生可能エネルギー設備導入など、大きな事業に取り組むことは難しいことから、まずはスモールスタートを切っており、定量的な数値を示す段階にありません。

**問** ゼロカーボンに関係する自然環境の保持をどのような施策で進めているのか伺います。

**田中村長**

環境に優しい行動をできることからスタートしようということで、継続的な意識醸成、森林環境譲与税を活用した各種事業により持続可能な森林経営に努め、現場の状況に合わせた施策を選択して行っています。今後は、基本合意書を締結した2社により、高い成果と効果的な課題解決が可能になると考えています。ま

た、ごみの分別・減量化、節電等、あらゆる機会を通して伝えてまいります。

**問** ゼロカーボンに関してのごみ減量化の取組が延滞しているように思っていますが、その考えはいかがですか。

**田中村長**

家庭系のごみは順調に減少していますが、粗大ごみは一昨年、昨年と増加傾向で続いていましたが、今年度は減少となっておりま

### 2 村の林業施策の今後は

**問** 広葉樹等による植林の山づくりの施策が進んでいないように感じますが伺います。

**田中村長**

森づくりのマスタープランであります「占冠村森林整備計画」に基づき、自然条件への適地適木を基本に植栽樹種を選定してあります。最近では広葉樹の植栽を適地で植える努力をしております。

**問** 林業施策の新生産において、村内の公共施設で購入頻度が減少していると聞いております。要因と対策を伺います。

**田中村長**

供給元の変更があり配送方法、販売価格等、従来の供給元との違いが原因と考えています。価格としての差があることは事実です。木質バイオマスエネルギー導入促進事業補助のうち、薪購入補助額を見直し、利用者負担の軽減に努めております。

**再問** 購入量は減少していませんが、使用頻度が減少しているのであれば問題があると考えます。今後も薪ストー

ブの購入や薪購入への補助を施策として行うならば真逆の事業となるのではないかと思います。伺います。

**田中村長**

色々な補助施策を行いながら木質バイオマスエネルギーの活用ということで、ゼロカーボン、木材利用もあります。村としては精いっぱい行っているということです。

**問** 公共施設でもあるミナトマムの地域活動に、薪ストーブの使用に制限が出て、陶芸活動や地域の方の憩いの場として支障が出てきていることに問題があると考えますが伺います。

**田中村長**

日頃の情報交換から経営状況が厳しいことは把握しています。ミナトマム部会の方々が苦勞されていることも承知しています。公民館的な要素の光熱費、薪購入については教育費から出せるよう現場と協議していただきたいと思っております。



ふじおか よしつぐ  
藤岡 幸次 議員

## ▶鳥獣害（熊被害・鹿被害）対策

## ▶農地浸水被害防止策

## ▶環境教育植林体験（学校）

## ▶冬季のスポーツ振興

### 1 熊被害対策

**問** 全国的に深刻な熊被害発生により、国から熊被害対策パッケージが示されました。本村の取り組み内容について伺います。

田中村長

パッケージは3項目からなっており、まず緊急的な取組については、緊急銃猟を想定した占冠村ヒゲマ市街地侵入等発生時対応計画（策定済み）に基づいた訓練を警察、捕獲従事者、村担当者において実施済みです。夜間対応についても有資格者を確保されています。短期的な取組については関係各所に熊スプレーの配布と訓練を計画。中期的取組としては、熊出没対応机上および実施訓練を計画また、熊スプレー訓練は数回実行予定です。

**問** 教育委員会としての熊被害対策の取組内容について伺います。

多田教育長

村内各学校統一の熊出没

対応チェックリスト、危機管理の手引き活用により対応することとしており、対応訓練についても関係各所と連携を図りトマム地区、中央地区ともに実施を考えています。

### 2 鹿被害対策

**問** 鹿被害対策として、シカ柵を農地に加えて収穫作物被害防止にまで拡大できないかとの声が出ているが考えを伺います。

田中村長

農業者の被害対策を第一に考えて、担当課に対応検討を指示します。

### 3 農地の浸水被害防止策

**問** 山からの排水滞りにより農地の浸水被害の解消されていない箇所があるが、至急改善に向けて取り組むべきと思うが考えを伺います。

田中村長

引き続き緊急対応の必要な箇所については、様々な制度を活用して、相談者の

牧草地に流入する沢水・土砂



声に対応すべく取り組んでいます。

### 4 環境教育植林体験（学校）

**問** 令和7年度の環境教育の実施内容について伺うとともに、毎年計画的な植林体験が環境教育に有効と思われるが考えを伺います。

多田教育長

具体例として森の学校、神楽の学校、川の学校、熊の学校を実施しました。また、植林体験については、ボランティア講師をはじめとした関係団体と協議を進

め実施に向けた取組を考えています。

### 5 冬季のスポーツ振興

**問** 村民の冬季スポーツ振興策として、スノーシュー、スノーボード、歩くスキーなどの体験学習が有効と思われるが考えを伺います。

多田教育長

今季は、トマムスキー場での村民優待、村民へのスノーシュー貸出、親子スキー教室、大人のスキー教室、冬季ハイキングの開催を計画しています。

歩くスキーについては用具が経年劣化しており、予算確保に向け、今後検討していきます。



親子スキー教室の様子（令和7年1月）



# 議員の主な うごき

令和7年第4回占冠村議会  
定例会(9月22日)以降



令和8年占冠村二十歳を祝うつどい【1月10日】

- 9月 22日 議会広報特別委員会(各委員)
- 27日 占冠中央小学校・占冠中学校合同文化発表会(各議員)
- トマム学校・トマム保育所合同学芸会(各議員)
- 10月1~2日 上川・留萌管内女性議員研修会(東神楽町ー副議長・下川議員)
- 2日 令和7年度上川管内町村議会議長研修会(南富良野町ー議長)
- 8日 アспен市短期交換留学生ウェルカムパーティー(議長)
- 11日 令和7年度占冠消防秋季演習(各議員)
- 15日 アспен市短期交換留学生フェアウェルパーティー(議長)
- 16日 議会広報特別委員会(各委員)
- 21~22日 総務産業常任委員会道内行政視察(別海町・浜中町・厚岸町ー全委員)
- 23日 議会広報特別委員会(各委員)
- 27日 令和7年度富良野沿線市町村議会議長会定例(秋期)議長会議(南富良野町ー議長・副議長)
- 29日 富良野圏域における河川整備促進に関する要望活動(旭川市ー議長)
- 30日 決算特別委員会(全委員)
- 31日 決算特別委員会(全委員)
- 11月 6日 令和7年度上川管内町村議会議員研修会(旭川市ー全議員)
- 11日 令和7年度上川町村議会議長会臨時総会・行政懇談会(東京都ー議長)
- 12日 第69回町村議会議長全国大会・研修会(東京都ー議長)
- 13日 冬の交通安全運動街頭啓発活動(各議員)
- 13~15日 令和7年度上川管内町村議会議長現地研修会(神奈川県寒川町・同開成町・埼玉県川越市・同横瀬町ー議長)
- 19日 上富良野駐屯地幹部異動に伴う送別会(上富良野町ー副議長)
- 25日 議会運営委員会(全委員)・全員協議会(全議員)
- 26~27日 上富良野駐屯地の現状規模の堅持に関する中央要望(東京都ー議長)
- 28日 総務産業常任委員会村内所管事務調査(全委員)
- 12月 2日 議会運営委員会(全委員)
- CS議会に関わる授業参加(トマム学校・副議長・細谷議員・下川議員)
- 3日 CS議会に関わる授業参加(占冠中学校・副議長・細谷議員・下川議員)
- 9日 CS議会打合せ(全議員)

## 【富良野広域連合議会関係】

- 10月 2日 富良野広域連合議会議会運営委員会(富良野市ー広域連合議員)
- 富良野広域連合議会全員協議会(富良野市ー広域連合議員)
- 9日 富良野広域連合議会第2回定例会(富良野市ー広域連合議員)

## 議会はどなたでも気軽に傍聴することができます



児玉議長

傍聴するのに特別な服装や準備は必要ありません。途中入場や途中退場も自由です。  
傍聴人は自由に写真やビデオを撮ったり、録音することができます。議場は総合センター  
(役場庁舎)3階です。お気軽においでください。



大谷副議長

今後の  
予定

3月定例会 → 3月5日(木)・6(金)・9日(月)・12日(木)  
予算特別委員会 → 3月11日(水)

※いずれも午前10:00開会

※議事内容等により、日程を変更する場合があります。

広報からのお知らせ  
各行事等では広報の取材・写真撮影をさせて頂いていただいております。広報への掲載をご承諾いただけない場合は、その場でお申し出いただくか事務局までご連絡ください。

### 広報からのお知らせ

委員 長 藤岡 幸次  
副委員 長 小林 潤  
委員 小 尾 雅彦  
委員 大 谷 元江

### ▼議会広報特別委員会(後期)

(小尾)

私も18歳で占冠村に奉職して占冠村在住歴が44年経過しますが、村内では人身事故の発生事例は記憶にありません。来年も平穏な熊さんを願うばかりです。  
令和8年の干支は「丙午」です。一説には出生率が低くなるなどの話があるが迷信だそうです。「革命と成長のエネルギー」に満ちた年とされ、私たち住民にとって新しい挑戦の良い機会と捉えて、希望に満ちた良い年となるよう邁進してまいりましょう！

### 編集後記

令和7年度の世相を1字で表す「今年の漢字」が「熊」に決まったと発表されました。  
昨年は本当に異常と思えるほどに熊被害が全国的に拡散しました。人身被害も全国で230件も発生し、尊い命が失われています。

発行:占冠村議会 編集:議会広報特別委員会

〒079-2201 北海道勇払郡占冠村字中央 TEL 0167-56-2191 FAX 0167-56-2184  
URL <https://www.vill.shimukappu.lg.jp>



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。